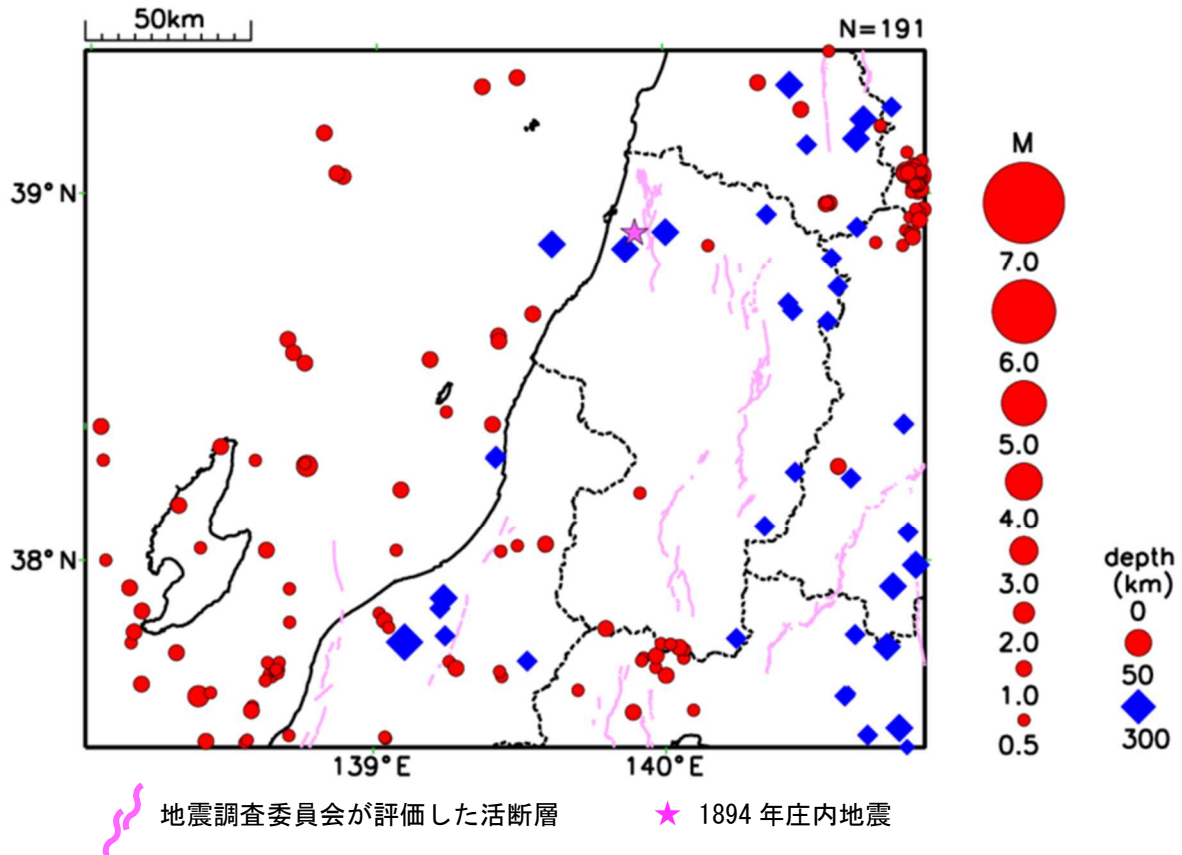


山形県月間地震概況（2023年8月）

山形地方気象台

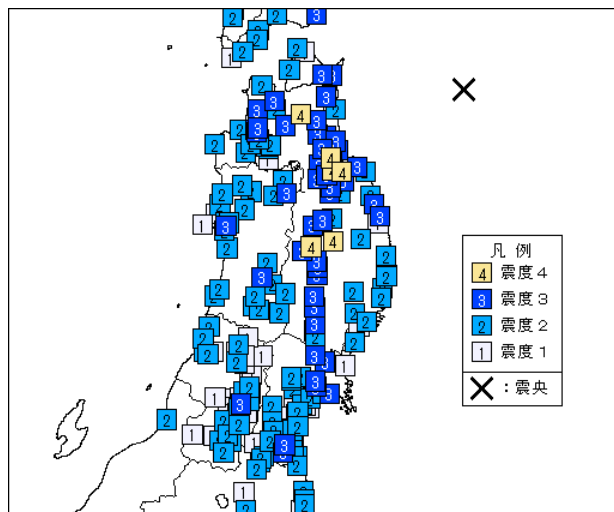
今期間(8月1日～31日)の震央分布図



【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は191回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は6回(前期間1回)であった。

11日09時14分に青森県東方沖の深さ28kmでM6.2の地震が発生し、青森県と岩手県で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測した。県内では中山町で震度3を観測したほか、震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

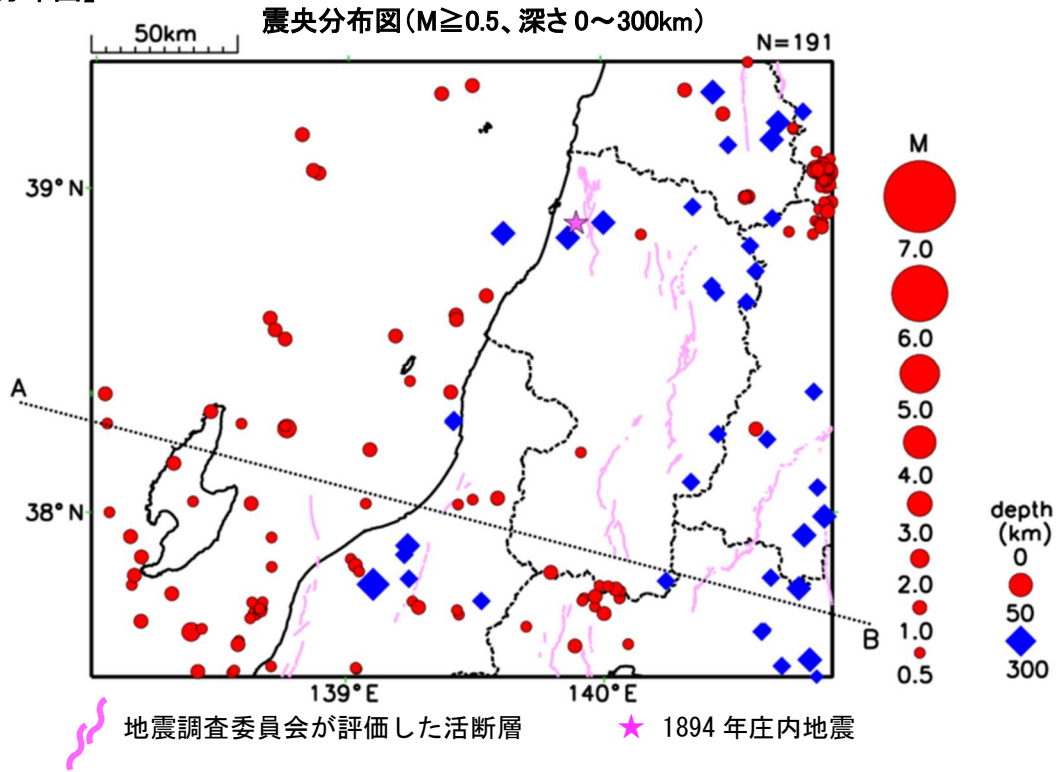


11日09時14分に青森県東方沖で発生した地震(M6.2)の震央(X)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

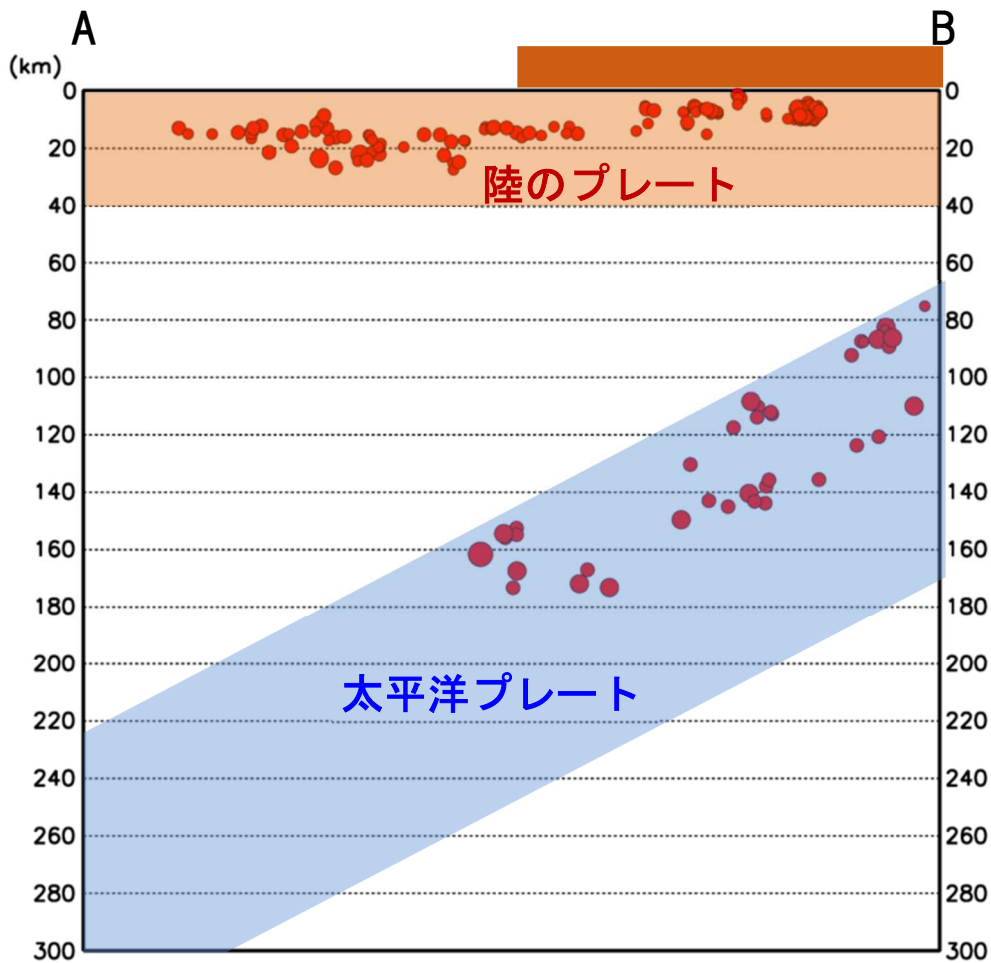
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年 8 月 1 日～2023年 8 月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年08月01日17時38分	福島県沖	36° 58.4' N	141° 49.6' E	68km	M4.3
山形県	震度 1 : 米沢市アルカディア				
2023年08月07日13時48分	福島県沖	37° 14.0' N	142° 14.1' E	22km	M4.7
山形県	震度 1 : 高島町高島*				
2023年08月11日09時14分	青森県東方沖	41° 07.5' N	142° 54.7' E	28km	M6.2
山形県	震度 3 : 中山町長崎*				
	震度 2 : 鶴岡市藤島* 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 三川町横山* 遊佐町遊佐 遊佐町舞鶴* 真室川町新町* 大蔵村清水* 上市市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 山辺町緑ヶ丘* 河北町吉田 河北町役場* 米沢市林泉寺* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町荒砥*				
	震度 1 : 鶴岡市馬場町 鶴岡市温海川 鶴岡市道田町* 鶴岡市上山添* 鶴岡市羽黒町* 酒田市本町* 庄内町狩川* 庄内町余目* 新庄市東谷地田町 新庄市堀端町* 新庄市住吉町* 山形金山町中田 最上町向町* 舟形町舟形* 大蔵村肘折* 鮭川村佐渡* 山形市薬師町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 東根市中央* 西川町大井沢* 山形朝日町宮宿* 大江町左沢* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市金池* 山形小国町岩井沢 山形小国町小国小坂町* 白鷹町黒鴨 飯豊町椿*				
2023年08月11日22時20分	宮城県沖	38° 40.7' N	142° 22.0' E	58km	M4.7
山形県	震度 1 : 戸沢村古口* 中山町長崎* 尾花沢市若葉町* 米沢市駅前 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 白鷹町荒砥*				
2023年08月25日07時48分	三陸沖	39° 29.2' N	143° 20.3' E	15km	M6.0
山形県	震度 2 : 酒田市亀ヶ崎 酒田市飛鳥* 酒田市山田* 村山市中央* 中山町長崎* 河北町吉田 河北町役場* 白鷹町荒砥*				
	震度 1 : 鶴岡市温海川 鶴岡市道田町* 鶴岡市藤島* 酒田市宮野浦* 酒田市本町* 三川町横山* 遊佐町遊佐 遊佐町舞鶴* 庄内町狩川* 庄内町余目* 最上町向町* 大蔵村肘折* 戸沢村古口* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上市市河崎* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 西川町大井沢* 大江町左沢* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市林泉寺* 高島町高島* 山形川西町上小松* 山形小国町岩井沢				
2023年08月28日18時08分	福島県沖	37° 08.2' N	142° 18.4' E	11km	M5.0
山形県	震度 1 : 米沢市アルカディア 米沢市林泉寺*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。